

Policy

【英国—政策】

燃料税導入、業界団体が批判

燃料税の導入は一般世帯にとって年間200英ポンド(2万8000円)のコスト負担になるとして、業界団体が批判している。ガーディアン(電子版)が伝えた。

ダーリング財務相は先ごろ、9月1日から1リットル当たり2英ペンス(2.8円)の燃料税を導入すると発表した。燃料税はもともと昨年4月に導入されるはずだったが、ガソリン高騰を受け先送りされていた。

英ドライバー団体・自動車協会(AA)の広報担当者は、ガソリン価格が昨年夏と比べても上昇していると指摘。燃料税の導入は家計に打撃を与え、景気回復を遅らせると主張している。

政府は先ごろ、10年以上たった中古車を新車に買い換えた場合に2000英ポンド(28万円)の補助金を支給する「スクラップ計画」を発表したが、AAのキング会長は、これによって消費者が受ける恩恵が、燃料税の導入によって相殺されると指摘している。

【欧州—政策】

EU自動車課長、東京で講演

欧州連合(EU)の企業・産業総局自動車課のフィリップ・ジャン課長は24日、日欧産業協力センターが東京都内で開いたセミナーで講演し、EUの自動車産業政策の展望と課題を解説した。

同課長はEUの新車市場の現状について「一番多い時期で250万台もの在庫があったものの、1~2月にかなり縮小した。現在はディーラーからの注文が増えつつあり、EU市場は回復しつつある」と述べ、景気は底を打ったとの見方を示した。特にドイツやフランスなど12の加盟国が採用した新車購入補助策が奏功し、これまでに60万台の車両に適用されたと明らかにした。

ただ、平年並みの1500万台水準まで戻るのに1年から1年半、近年では最も販売台数が多かった2007年の1800万台水準まで戻るには4年ほどかかるとみている。

EUとしての政策展開については、完成車メーカーとサプライヤー向けの金融支援と新車購入補助策を柱とすると説明。09年は欧州投資銀行(EIB)が90億ユーロ(約1兆1400億円)の融資枠を設定したほか、新車需要を下支えするための政策を実施するよう加盟国に促す通知を発した。

環境技術については「プラグイン・ハイブリッド、燃料電池、水素、電気、バイオ燃料の5つの技術が鍵になる」と指摘した上で、「2015年までに低炭素社会を実現するには、2010~2012年に枠組みを決めていく必要がある」と述べた。



欧州の自動車産業政策について解説するEUのフィリップ・ジャン自動車課長

Others

【ドイツ—その他】

カタールがポルシェ株取得? 独誌報道

中東のカタールがドイツの自動車メーカー、ポルシェの株式取得を計画している——独週刊誌「フォーカス」がロイター通信に明らかにした。これによると、カタールの首長がポルシェに買収の意志があることを伝えたという。

記事の無断転載・複製・転送を禁じます